



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 セーレン株式会社

コード番号 3569 URL <http://www.seiren.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 川田 達男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 総務担当 (氏名) 松村 重信

TEL 0776-35-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	63,780	△2.1	2,787	△16.4	2,848	△20.3	1,465	△19.1
23年3月期第3四半期	65,179	11.2	3,333	154.5	3,573	40.2	1,811	1.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 276百万円 (△72.8%) 23年3月期第3四半期 1,016百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	24.45	—
23年3月期第3四半期	30.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
24年3月期第3四半期	88,394	747.55	45,250	50.7	50.7	747.55
23年3月期	86,206	752.63	45,590	52.3	52.3	752.63

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 44,797百万円 23年3月期 45,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	0.8	3,750	△0.8	3,800	△5.2	1,900	△12.5	31.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	64,633,646 株	23年3月期	64,633,646 株
24年3月期3Q	4,708,088 株	23年3月期	4,708,011 株
24年3月期3Q	59,925,582 株	23年3月期3Q	59,925,670 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する訂正の情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における日本経済は、東日本大震災からの復旧進展による経済活動の回復がみられたものの、タイ洪水は再び国内の主力産業に影響を及ぼしました。企業を取り巻く環境は、原材料・燃料価格の高止まり、長期化する円高とデフレに加え、欧州財政不安による世界経済の減速など、依然不透明かつ厳しい状況が続いています。

当第3四半期における当社グループの業績は、東日本大震災の影響で大幅減産となった主力のオートモーティブ事業が、予想を上回るサプライチェーンの復旧に伴い、国内外ともに増産体制へと移行しました。しかしながら、10月に発生したタイ洪水の影響で再び減産となりました。他の事業については、震災や洪水の影響が軽微であり、新事業の順調な進捗と差別化商品の拡販で売上高を伸ばしました。利益におきましては、震災や洪水に起因する売上高の減少、原材料・燃料価格の高止まり、円高が減益要因となりました。

当第3四半期の連結業績は、売上高 637 億 80 百万円（前年同期比 2.1%減）、営業利益 27 億 87 百万円（同 16.4%減）、経常利益 28 億 48 百万円（同 20.3%減）、四半期純利益 14 億 65 百万円（同 19.1%減）となりました。

なお、KBセーレン(株)における負ののれん償却額の計上が前年第1四半期で終了し、経常利益において前年同期比 2 億 77 百万円の減益要因となっております。

より厳しさを増す環境の中、当社グループにおきましては「21世紀企業への変革！」を中期方針に掲げ、「特命プロジェクト」の推進により、時代の変化を捉えた新事業の創出に取り組んでおります。さらにグローバル事業の拡大に向けた組織機能の拡充、人材育成、関連会社の戦略転換など、次の展望に向けた企業体質の強化を進めております。

[セグメント別の業績概況]

(オートモーティブ事業)

国内事業は、自動車内装材において東日本大震災の影響による大幅な生産縮小を余儀なくされましたが、サプライチェーンの復旧に伴い、増産に移りました。しかしながら、挽回途上の10月に発生したタイ洪水の影響を受け、震災の影響よりも小規模ながらも再び減産となりました。海外事業の前半は、新興国の経済成長による需要増加を受け、自動車内装材およびエアバッグとも堅調に売上高を伸ばしました。後半には東日本大震災の影響による生産縮小を余儀なくされましたが、国内事業と同様に、サプライチェーンの復旧に伴い、増産に移りました。

当第3四半期におけるオートモーティブ事業は、震災による落ち込みからの業績回復が見られたものの、震災直後の売上高減少と、その挽回途上に発生したタイ洪水の影響が残る業績となりました。

国内事業と海外事業を合わせた当事業の売上高は 285 億 31 百万円（前年同期比 8.2%減）、営業利益は 12 億 90 百万円（同 49.3%減）となりました。

(ハイファッション事業)

長期化するデフレや節約志向の定着に加え、震災直後の消費低迷が事業全般に影響を及ぼしました。厳しい市況のなか、ビスコテックスのファッション事業では、差別化商品と時代のニーズにマッチした小ロット・在庫レスの商品提供サービスで、前年の利益水準を維持しました。KBセーレン(株)の特殊原糸販売、および特殊原糸から縫製までのグループ一貫機能を活かしたスポーツ事業は、前年同期比で増収・増益となりました。一方で、次期戦略事業の早期展開を図るため、生産性を飛躍的に高める次世代ビスコテックスの開発、ならびに海外での衣料一貫生産体制の構築に対する先行費用が発生しました。

当事業の売上高は 213 億 57 百万円（前年同期比 2.7%増）、営業利益は 7 億 53 百万円（同 25.3%減）となりました。

(エレクトロニクス事業)

電磁波シールド材「プラット®」については、低価格品の市場参入と円高の影響を受け、ガasket材の売上高が減少しました。また、PDP用電磁波シールド材の繊維メッシュ商品ならびにフィルム

メッシュ商品については、最終ユーザーである家電メーカーの薄型テレビ事業縮小の動向を受けて生産数量が大幅に減少し、一部の商品については生産を終了しましたが、当社グループでは、繊維をはじめとする高分子材料と導電性機能との複合技術を活かした新商品開発を継続していきます。一方、KBセーレン(株)の高性能導電糸「ベルトロン®」は国内外で売上高を伸ばしました。新事業の非繊維ビスコテックスのシステム販売については、高い市場ニーズを受けて順調に販売が進捗し、当第3四半期において売上高3億46百万円を計上しております。

当事業の売上高は48億39百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は68百万円(前年同期は営業損失2億78百万円)となりました。

(インテリア・ハウジング事業)

住宅着工戸数は依然として低い水準に留まりましたが、東日本大震災の影響による特需を受け、ハウスラップ材が売上高を伸ばしました。市場ニーズにマッチした省エネ対応商品の遮熱型透湿ルーフィング材「ルーフ ラミテクト® RX」ならびに遮熱型ハウスラップ材「ラミテクト® サーモ」の拡販も進みました。同様に震災特需を受けたインテリア資材においても、前年同期比で大幅な増収となりました。また、製造合理化による原価低減や、開発の選択と集中による経費削減で、事業全般における営業利益率を押し上げました。

当事業の売上高は45億34百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益は5億17百万円(同83.0%増)となりました。

(メディカル事業)

化粧品事業は、新商品投入とネット販売の強化により震災直後の売上高減少をカバーし、前年同期比で増収・増益となりました。また、卓越した消臭機能を持つアンダーウェアシリーズ「DEOEST®」は新商品の投入で商品ラインナップを拡充し、売上高を伸ばしました。メディカル資材では、原糸から製品までのグループ一貫機能をフル活用した人工血管基材やKBセーレン(株)の特殊伸縮性不織布「エスパンシオーネ®」等のオンリーワン商品が着実に売上高・利益を伸ばしました。

当事業の売上高は37億81百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は7億48百万円(同18.4%増)となりました。

(その他の事業)

賃貸事業および子会社のセーレンコスモ(株)の人材派遣事業、セーレン商事(株)の保険代理業、(株)セーレンシステムサービスのソフトウェア開発・販売事業など、いずれの事業も概ね堅調に推移し、事業全体で増収・増益となりました。

当事業の売上高は7億35百万円(前年同期比19.4%増)、営業利益は2億86百万円(同53.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、受取手形及び売掛金などの流動資産が増加した一方、設備等の減価償却により有形固定資産が減少し、前期末と比較して全体で21億87百万円増加の883億94百万円となりました。負債の部は、支払手形及び買掛金の増加や借入金の増加などにより25億27百万円増加し、431億44百万円となりました。純資産は、為替変動により為替換算調整勘定が減少し、全体で3億39百万円減少の452億50百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益28億31百万円、減価償却費37億49百万円などの資金増加要因があり、全体では20億19百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより34億95百万円の支出となり、その結果、フリー・キャッシュ・フローは14億76百万円の減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加などにより8億35百万円の収入となりました。これらの結果、現金及び現金同等物は前期末より9億61百万円減少し、当第3四半期末残高は38億69百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当下半期の事業環境は、東日本大震災からの挽回途上に発生したタイ洪水の影響で、国内外におけるオートモーティブ事業は減産を余儀なくされました。また、原材料・燃料価格の高止まりに長期化するデフレや円高、さらには欧州財政不安や米国の景気低迷など、引き続き経営環境は厳しい状況で推移することが予想されます。

これらの影響を勘案した結果、平成23年7月29日に発表しました通期業績予想数値を修正し、売上高870億円(前期比0.8%増)、営業利益37億50百万円(同0.8%減)、経常利益38億円(同5.2%減)、当期純利益19億円(同12.5%減)とします。

なお、税制変更に伴い繰延税金資産を約3億50百万円取り崩す予定であり、当期純利益の修正値に織り込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,938	3,965
受取手形及び売掛金	19,234	21,904
商品及び製品	6,877	7,773
仕掛品	1,809	1,897
原材料及び貯蔵品	2,609	2,883
その他	1,988	2,285
貸倒引当金	△10	△15
流動資産合計	37,446	40,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,193	21,080
機械装置及び運搬具(純額)	10,216	8,879
工具、器具及び備品(純額)	372	331
土地	9,475	9,543
その他(純額)	376	1,008
有形固定資産合計	42,635	40,843
無形固定資産		
投資その他の資産	562	483
その他	5,609	6,420
貸倒引当金	△47	△48
投資その他の資産合計	5,562	6,371
固定資産合計	48,760	47,698
資産合計	86,206	88,394
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,962	13,349
短期借入金	5,623	7,307
未払法人税等	1,069	640
賞与引当金	986	422
その他	3,317	4,109
流動負債合計	22,960	25,830
固定負債		
長期借入金	10,928	10,715
役員退職慰労引当金	215	174
退職給付引当金	5,618	5,585
負ののれん	198	168
その他	694	670
固定負債合計	17,656	17,314
負債合計	40,616	43,144

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	16,838	16,838
利益剰余金	17,569	18,435
自己株式	△3,928	△3,928
株主資本合計	47,999	48,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181	3
為替換算調整勘定	△3,079	△4,072
その他の包括利益累計額合計	△2,897	△4,068
少数株主持分	488	453
純資産合計	45,590	45,250
負債純資産合計	86,206	88,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	65,179	63,780
売上原価	50,871	49,384
売上総利益	14,307	14,395
販売費及び一般管理費	10,974	11,608
営業利益	3,333	2,787
営業外収益		
受取利息	64	84
受取配当金	42	52
負ののれん償却額	307	30
雇用調整助成金	128	119
その他	175	149
営業外収益合計	719	436
営業外費用		
支払利息	180	161
為替差損	273	177
その他	24	36
営業外費用合計	479	375
経常利益	3,573	2,848
特別利益		
固定資産売却益	32	34
助成金収入	200	—
受取和解金	—	15
その他	13	0
特別利益合計	246	49
特別損失		
固定資産処分損	63	50
投資有価証券評価損	191	1
その他の投資評価損	—	14
事業整理損	148	—
その他	70	0
特別損失合計	473	66
税金等調整前四半期純利益	3,346	2,831
法人税等	1,537	1,344
少数株主損益調整前四半期純利益	1,808	1,486
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2	21
四半期純利益	1,811	1,465

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,808	1,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△178
為替換算調整勘定	△785	△1,032
その他の包括利益合計	△792	△1,210
四半期包括利益	1,016	276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,026	294
少数株主に係る四半期包括利益	△10	△18

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,346	2,831
減価償却費	4,508	3,749
負ののれん償却額	△307	△30
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	6
賞与引当金の増減額(△は減少)	△685	△564
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△123	△33
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△22	△40
受取利息及び受取配当金	△107	△137
支払利息	180	161
為替差損益(△は益)	168	112
事業整理損失	148	—
固定資産処分損益(△は益)	31	16
投資有価証券評価損益(△は益)	191	1
売上債権の増減額(△は増加)	△1,761	△2,872
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,263	△1,462
仕入債務の増減額(△は減少)	1,711	1,558
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15	66
その他	548	331
小計	6,531	3,692
利息及び配当金の受取額	107	137
利息の支払額	△187	△171
法人税等の支払額	△896	△1,639
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,555	2,019
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,355	△2,308
有形固定資産の売却による収入	39	95
投資有価証券の取得による支出	△316	△1,229
その他	100	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,532	△3,495
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△692	1,686
長期借入れによる収入	—	2,500
長期借入金の返済による支出	△2,300	△2,714
配当金の支払額	△599	△599
少数株主への配当金の支払額	△13	△15
その他	△23	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,628	835
現金及び現金同等物に係る換算差額	△97	△320
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	296	△961
現金及び現金同等物の期首残高	3,836	4,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,133	3,869

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	オートモ ーティブ	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	インテリ ア・ハウ ジング	メディカ ル	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	31,079	20,793	4,749	4,264	3,676	64,563	615	65,179	—	65,179
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	10	490	5	—	505	699	1,204	△1,204	—
計	31,079	20,803	5,239	4,269	3,676	65,069	1,315	66,384	△1,204	65,179
セグメント利益又は損 失(△)	2,547	1,008	△278	282	631	4,191	185	4,377	△1,044	3,333

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	オートモ ーティブ	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	インテリ ア・ハウ ジング	メディカ ル	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	28,531	21,357	4,839	4,534	3,781	63,044	735	63,780	—	63,780
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	9	337	—	—	348	647	995	△995	—
計	28,532	21,366	5,177	4,534	3,781	63,393	1,382	64,775	△995	63,780
セグメント利益	1,290	753	68	517	748	3,378	286	3,664	△877	2,787

(注) 1. 各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

- (1) オートモーティブ……………自動車内装材、カーシート、エアバッグ
- (2) ハイファッション……………各種衣料製品、衣料用繊維加工
- (3) エレクトロニクス……………電磁波シールド材、クリーンルームウェア、電子機器、工業用製品
- (4) インテリア・ハウジング…建築用資材、インテリア用資材
- (5) メディカル……………化粧品、浄水器及びフィルター、医療用製品

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発及び販売、保険代理業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用(前第3四半期連結累計期間1,042百万円、当第3四半期連結累計期間987百万円)が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。